

函館市公民館の保存・活用に係る 基本的考え方（案）

平成23年9月

函館市教育委員会

函館市公民館の保存・活用に係る基本的考え方

函館市公民館は、昭和8年に建設された旧函館市青年会館を前身とし、昭和22年に公民館として開館した。

以来、長年にわたり当市の生涯学習の場として、また、文化芸術の振興のために役割を果たし、今なお多くの市民に利用されているとともに、長い歴史を刻んだ建物は、独特のレトロな雰囲気を持ち、当市の貴重な財産となっている。

しかし、75年以上を経過した建物は、老朽化が進んでいるとともに、バリアフリーに対応していないなど、利用者のニーズに十分に答えられない状況にあり、全市的な文化・生涯学習の交流拠点として整備改修が求められている。

こうしたことから、本公民館の整備改修に向けた検討を行うにあたり、広く市民の意見を聞くため、平成21年5月に「函館市公民館整備改修に関する懇話会」を設置し協議を重ね、平成22年2月に、同懇話会から提言書が提出された。

この提言書および平成21年度に実施した耐震診断調査の結果を踏まえ、整備改修に係る基本的考え方をまとめたものである。

■施設の概要

(1) 所在地

函館市青柳町12番17号

(2) 施設内容

- ・建物延べ面積 1,267.31㎡
- ・構造 本館棟：鉄筋コンクリート造地下1階地上2階建
事務所棟：レンガ造2階建
石館ホール棟：木造平屋建
- ・敷地面積 1,302.11㎡
- ・概要 講堂(245.57㎡)、第1集会室(59.79㎡)、第2集会室(57.62㎡)、
第3集会室(29.23㎡)、陶芸実習室(27.12㎡)、事務室(56.0㎡)、
石館ホール(12.5㎡)

■整備改修の必要性

本公民館は、昭和22年の開設以来、長きにわたり市民の生涯学習の場として、多くの市民に利用されてきたところであり、今なお、高齢者大学をはじめ、各種の講座を開催し、広く活用されているところである。

したがって、今後とも市民ニーズに応え、市民の生涯学習の場として存続していくことが必要であるとの判断から整備改修を行うものである。

■耐震診断調査結果の概要

1 本館棟（講堂、第1集会室、第2集会室、第3集会室、陶芸実習室）

- ・ 構造耐震指標 I_s 値は、判定指標を満足している。
- ・ 講堂の鉄骨小屋組の剛性が不足しているため、補強が必要である。
- ・ コンクリートの中性化が進行しているため、再アルカリ化が必要である。

2 事務所棟（事務室）

- ・ レンガ造としての耐震性を満足している。
- ・ 2階床のたわみ等のため、補強が必要である。

3 石館ホール棟（石館ホール）

- ・ 木造としての耐震性を満足している。
- ・ 煙突基礎が沈下しているため、補強が必要である。

なお、和室については、老朽化が著しいため平成23年3月に解体した。

■整備改修の基本的考え方

1 保存・活用と安全性の確保

(1) 歴史ある建物の保存と活用

- ・ 昭和のレトロな雰囲気醸し出す歴史ある建物として継承していくため、特徴となっているステンドグラスの補修を行うほか、可能な限り内外装の意匠の保存・復元に努めるものとする。

(2) 安全性および耐久性の確保

- ・ 現施設を保存しながら活用することを基本とする。そのため、安全性の確保を最優先とし、耐震補強などの必要な改修を行うとともに、今後の損傷を最小限に抑えるため、コンクリートの再アルカリ化をはじめ、屋根や外壁の補修など、耐久性を確保するために必要な改修を実施するものとする。

2 機能性の向上

(1) バリアフリー化

- ・ 障がい者や高齢者が利用しやすいよう、階段やトイレの改修、エレベーターの設置など、バリアフリー化するものとする。

(2) 施設全体の機能性の向上

- ・ 内壁や床、天井などの内装を改修し、環境を改善するものとする。
- ・ トイレの洋式化や増設、空調設備や照明設備の整備などにより、機能性と快適性を向上させるものとする。

(3) 諸室の機能性の向上

- ・ 講堂については、音響に考慮しながら各種設備や機器の更新、整備を行うものとする。
- ・ 集会室については、講座の開催や控え室として利用しやすいよう、機能性を向上させるものとする。
- ・ 陶芸実習室については、当公民館の特徴的な活動の場として、必要な備品、器具の整備を行うものとする。
- ・ 事務室については、利用者の利便性や市民との交流を考慮しながら、整備を行うものとする。
- ・ 石館ホールについては、現施設建設にあたっての寄附者を顕彰する部屋として整備のうえ保存するとともに、応接室等として有効に活用するものとする。

■事業費およびスケジュール

生涯学習の場として歴史ある建物を保存・活用するため、耐震補強を行うとともに、バリアフリー化など機能性の向上を図るに要する事業費は、約3億2,000万円程度と見込まれる。

整備にあたっては、市の財政状況や他の施設改修との優先順位などを考慮しつつ、早期改修に努めることとする。

函館市公民館平面図

